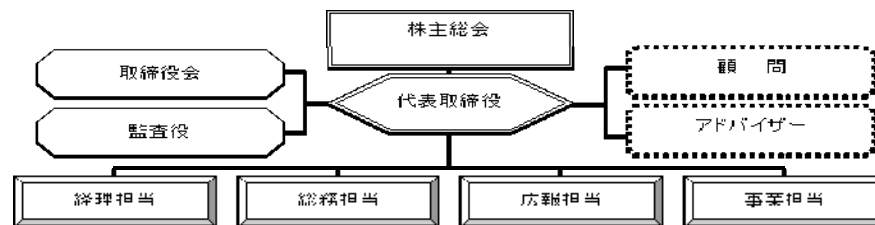
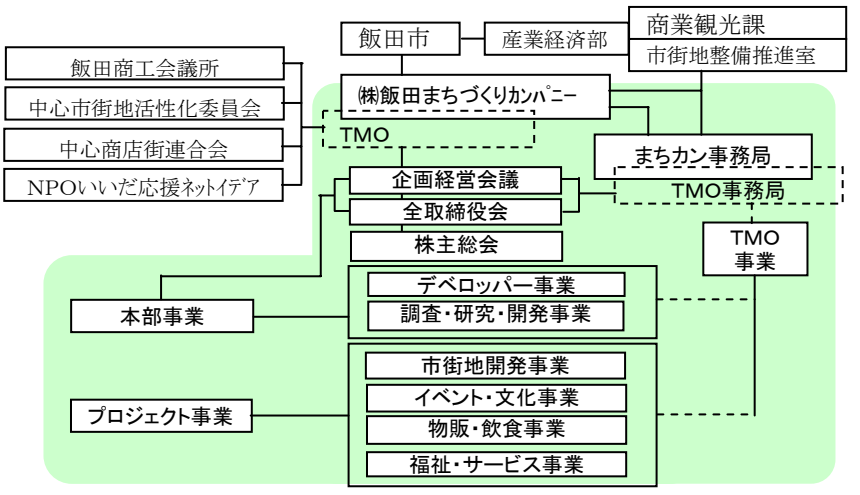

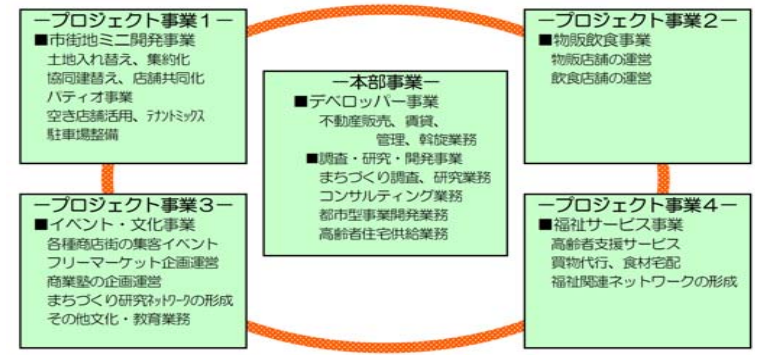
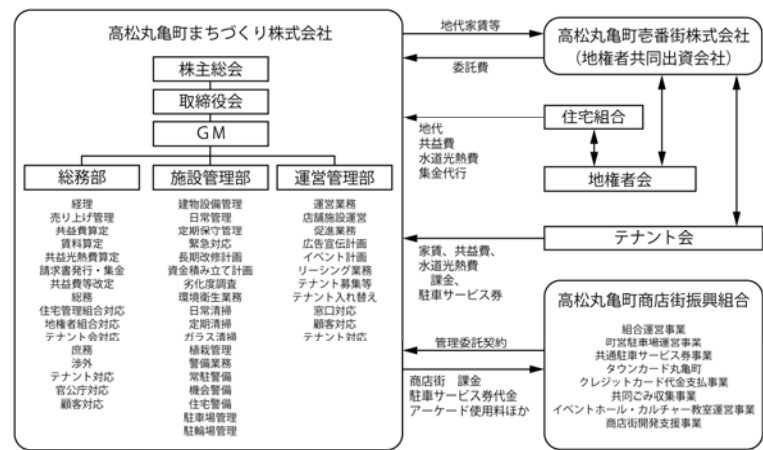
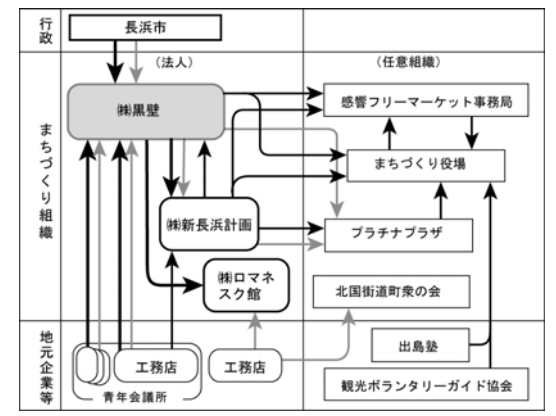




■継続的な実施体制構築に向けた参考事例集

組織名称	①株式会社まちづくり会津	②七日町通りまちなみ協議会	③株式会社飯田まちづくりカンパニー																																	
所在地	福島県会津市		長野県飯田市																																	
設立年月	平成10年7月（TMO認定：平成11年5月）	平成6年3月	平成10年8月（TMO認定：平成11年7月）																																	
構成員・組織図等	<p>【代表取締役】会津若松商工会議所副会頭                      【取締役(10)】まちづくり研究会、アネッサクラブ、市産業振興部長、会津ネットワーク協会会長、会津若松酒造組合理事長他                      【監査役(2)】会津若松商工会議所専務理事、会津若松商工信用組合理事長                      【顧問】会津若松市長                      【アドバイザー(3)】会津大学短期学部名誉教授、(株)都市構造研究センター代表取締役他                      【職員】事務職員(2)、パート(3)</p> 	<p>【組織形態】任意団体                      【会員】98名（うち事業所会員71名、個人会員27名）                      ・平成13年に女性部会、平成15年6月には青年部会が発足                      【役員】会長1名、副会長4名、幹事16名、監事2名                      ・幹事のうち会計は金融機関の支店長を当て、エリアごとに5名の地区幹事を置く。</p>	<p>【役員数】取締役11名、監査役2名                      【社員構成】常勤役員（社長兼務）2名、専従社員4名</p> 																																	
主要事業の概要	<p>■商店街路地空間整備構想策定                      “路地裏を活用した商店街活性化”を実現させるための構想づくり</p> <p>■七日町テナントミックス計画策定・事業                      「大正浪漫調」のまちづくりに沿ったテナントミックスの計画策定、テナントミックスの実現によりまちなか観光を推進</p>	<p>【「大正浪漫調」のまちづくり】</p> <p>■景観による街並み整備                      七日町通りを三つの地区に分け、それぞれ街並み協定を結び、建物の修景や看板の撤去・再設置、店先の緑化等により街並みの整備を行う。</p> <p>■空き店舗等の活用                      ・駅カフェ                      ・会津ブランド館</p> 																																		
資本金等	<table border="1"> <tr> <td>会津若松市</td> <td>2,915万円</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>会津若松商工会議所</td> <td>150万円</td> <td>2.6%</td> </tr> <tr> <td>中小企業者</td> <td>2,055万円</td> <td>35.2%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>710万円</td> <td>12.2%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>5,830万円</td> <td>100%</td> </tr> </table>	会津若松市	2,915万円	50%	会津若松商工会議所	150万円	2.6%	中小企業者	2,055万円	35.2%	その他	710万円	12.2%	合計	5,830万円	100%		<table border="1"> <tr> <td>飯田市</td> <td>3,000万円</td> <td>14.1%</td> </tr> <tr> <td>飯田商工会議所</td> <td>500万円</td> <td>2.4%</td> </tr> <tr> <td>銀行等</td> <td>6,000万円</td> <td>28.3%</td> </tr> <tr> <td>法人</td> <td>8,800万円</td> <td>41.5%</td> </tr> <tr> <td>個人</td> <td>2,900万円</td> <td>13.7%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>21,200万円</td> <td>100%</td> </tr> </table>	飯田市	3,000万円	14.1%	飯田商工会議所	500万円	2.4%	銀行等	6,000万円	28.3%	法人	8,800万円	41.5%	個人	2,900万円	13.7%	合計	21,200万円	100%
会津若松市	2,915万円	50%																																		
会津若松商工会議所	150万円	2.6%																																		
中小企業者	2,055万円	35.2%																																		
その他	710万円	12.2%																																		
合計	5,830万円	100%																																		
飯田市	3,000万円	14.1%																																		
飯田商工会議所	500万円	2.4%																																		
銀行等	6,000万円	28.3%																																		
法人	8,800万円	41.5%																																		
個人	2,900万円	13.7%																																		
合計	21,200万円	100%																																		
行政	人	<ul style="list-style-type: none"> <li>空き店舗対策事業や景観整備事業等の補助金について、行政側から積極的な活用を促進。</li> <li>市の景観条例に基づく補助金の受け皿となる「景観協定」を締結し、地域住民が自主的に作成したルールに基づき修景等の実施において市が助成。</li> <li>行政の担当者が短期間で変わることで、担当者のスキル不足の改善が課題となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトの立ち上げ期から現在に至るまで市の積極的な推進体制の構築。（市担当者の人事異動無し。）</li> </ul>																																	
	資金	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金の活用（空き店舗対策事業、まちなみデザイン推進事業）</li> <li>(株)まちづくり会津への出資。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金の積極的な活用。</li> </ul>																																
地元	人	<ul style="list-style-type: none"> <li>七日町通り商店会の中心にある渋川問屋の渋川氏が強いリーダーシップを発揮。</li> <li>地元のステークホルダー（利害関係者）が自ら率先して活動。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元有力者の関与。</li> </ul>																																	
	資金	<ul style="list-style-type: none"> <li>建替えのための自己資金。</li> <li>地元の銀行。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>地元の「信用」ある企業の出資→連鎖的な出資の発生。</li> </ul>																																

組織名称		④高松丸亀町まちづくり株式会社	⑤株式会社四番町スクエア	⑥株式会社黒壁
所在地		香川県高松市	滋賀県彦根市	滋賀県長浜市
設立年月		平成 11 年 1 月	平成 15 年 11 月	昭和 63 年 4 月
構成員・組織図等		<p>【役員数】18 名                      (専務取締役：振興組合理事長、常務取締役：振興組合副理事長他)</p> 	<p>【組織形態】任意団体                      【役員数】取締役 11 名、監査役 2 名                      【社員構成】常勤役員(社長兼務) 2 名、専従社員 4 名</p>	<p>【代表取締役社長】高橋金属(株)代表取締役会長                      【取締役副社長】長浜市副市長                      【取締役(10)】地元企業社長、長浜市部長等                      【監査役(2)】長浜信用金庫理事長、滋賀保証サービス(株)取締役社長                      従業員数は 100 数名。</p> 
主要事業の概要		<p>■まちづくりへの取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タウンマネジメントプログラムの策定</li> <li>・中心市街地活性化協議会への参加</li> </ul> <p>■まちづくりの事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティバスの運行</li> <li>・ICカードの導入</li> <li>・独自カードの導入</li> <li>・情報誌の発行</li> <li>・ワークショップ及びイベントの企画</li> </ul> <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の学校との連携</li> </ul>	<p>■四番町スクエア(都市再生土地地区画整理事業における共同利用街区)の集客の核施設の整備・運営、まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひこね街なかプラザ</li> <li>・ひこね食賓館四番町ダイニング</li> </ul> 	<p>■都市型観光における、来街者の増加による街の賑わい 中心市街地の活性化への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ガラス工芸品に関わる展示販売、</li> <li>■食堂喫茶の運営</li> <li>■ガラス文化に関する調査研究、イベントの企画運営</li> <li>■まちづくり文化に関する情報資料の収集、提供</li> <li>■まちづくりの事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報誌の発行</li> <li>・街角パフォーマンス等の企画</li> </ul> </li> <li>■国際交流に関する業務</li> </ul> 
資本金等		<p>合計：1 億円                      (自治体の出資比率を 5% に下げた民間主導型第 3 セクター)                      主要株主：中小企業者 約 75%、高松市 約 25%</p>	<p>合計：9,775 万円                      主要株主：彦根市、(株)平和堂、四番町スクエア協同組合、彦根商工会議所、銀行等</p>	<p>合計：4 億 4,000 万円                      主要株主：長浜市 1 4 0 百万円                      民間 4 3 名 3 0 0 百万円</p>
行政	人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当初は行政が非協力的 →地元の熱意等により現在は関係機関の調整等を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合意形成に向けた地権者等への粘り強い対応</li> <li>・新たな事業制度等の積極的な活用による地権者の発案の実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市職員の危機感から地元の財界人へ相談</li> </ul>
	資金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当初は行政が非協力的 →現在は補助金等を活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市が資金面でサポート。(区画整理事業費：27.7 億円の内、市費：11.1 億円、その他補助金の活用)</li> <li>・街なかプラザの運営補助費(1,000 万円/年)による支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市からの出資金(設立時 4,000 万円)</li> <li>・補助金の活用</li> </ul>
地元	人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街連合会会長の危機感が推進力につながっている</li> <li>・地域実力者等の理解、専門家の応援団の存在</li> <li>・商店の 2, 3 代目が中心となって推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会長や若手の人達の自発的な取り組み、意識の高さが推進力につながっている</li> <li>・多くの専門家等、応援団のサポート</li> <li>・地元スーパーの OB が常勤、共同化事業の運営を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街の再生に取り組んだ企業家達(青年会議所 OB を中心)の存在</li> <li>・既存店主(所有)と新たな担い手(利用)の分離により自然発生的に NPO が誕生</li> </ul>
	資金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元組合(商店街振興組合等)の資金的な潤い</li> <li>・早期から駐車場経営による利益を算出</li> <li>・私募債として地元市民などの資金を活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理事業による保留地、その他事業費の一部を負担</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間人 8 人からの出資(9,000 万円。長浜は別名「浄財の町」と呼ばれ、公の事業、町のために寄付を惜しまない)</li> <li>・設立当初、地元商店街は非協力的(出資はゼロ)</li> </ul>